一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	看護学研究科看護学専攻博士前期課程 高度実践コース(NP)				
実 施 方 法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	2720685	—	2110012	— 6	
講 座 の 創 設 年 月 日 令和 3 年 4 月 1 日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和 9 年 3 月 31 日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数(累積)(0 人)	修了者数 (1 人)	
訓 練 期 間	24ヶ月		総 訓 練 時 間	1125時間	

1. 教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	修士(看護学)
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	大阪医科薬科大学大学院
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	2年以上在学し、50単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査および最終試験に合格した者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	職種・職務:看護師、教員 業界:医療職養成・教育機関、医療機関 修得した知識・技術を生かし、看護管理者、高度実践看護師として貢献している

2. 教 育 訓 練 の 内 容

教 科 (カリキュラム)	時 間	使 用 教 材 名
看護倫理(必修科目) 2単位	30	
看護学研究方法論(必修科目) 2単位	30	
看護理論(必修科目) 2単位	30	
看護政策論(必修科目)1単位	15	
看護現任教育論、看護管理学、コンサルテーション論(選択必修科目) から2単位以上	30	
フィジカルアセスメント論(必修科目) 2単位	30	
臨床薬理学(必修科目) 2単位	30	
病態生理学(必修科目) 2単位	30	
課題研究(必修科目) 4単位	60	
選択必修科目 32単位以上	840	

3. 受 講 者 と な る た め の 要 件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	看護師免許を取得後、通算3年以上の実務経験を有する者
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学を卒業した者または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
③その他	なし

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		1	人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	0	人	
	3 その他の就業(自営業等)	1	人	1人
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	1人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	0	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	0	人	
	3 その他の就業(自営業等)	1	人	1人
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した	0	人	
	3 1割未満増加した	0	人	
	4 変わらない	1	人	
	5 1割未満減少した	0	人	
	6 1割以上3割未満減少した	0	人	
	7 3割以上減少した	0	人	1人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人	
	3 社内外の評価が高まる	0	人	
	4 早期に転職・再就職できる	0	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人	
	7 趣味・教養に役立つ	0	人	
	8 その他の効果	1	人	
	9 特に効果はない	0	人	1人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	0	人	0人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	1	人	
	3 どちらとも言えない	0	人	
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	0	人	1人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

修了者に対し進路状況調査(アンケート用紙)を行い、把握している

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	単位修得状況の確認及び、研究・論文の進捗状況により、指導教員が研究指導を行い、必要に応じて面談指導も行っている。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

2年以上在学し、50単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査および最終試験に合格した者。
各授業科目の成績評価については、シラバスに基準を定めている。

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教員が各学生に必要な授業科目の履修指導・助言を行う。また、各授業科目については授業中の質問の他、オフィスアワーを設定し個別相談を行っている。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	学生ごとに指導教員を定め、指導教員は学生の希望する研究領域を踏まえた履修計画の助言や修士論文作成の進捗状況を把握し、助言・指導を行っている。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人大阪医科薬科大学	(代表者名: 理事長 佐野 浩一)
住所及び連絡先	大阪府高槻市大学町2番7号	TEL 072-683-1221
施設名称及び施設長名	大阪医科薬科大学大学院	(施設長: 学長 佐野 浩一)
住所及び連絡先	大阪府高槻市八丁西町7番6号	TEL 072-683-1221
給付制度担当部署・者	学務部看護学事務課	(担当者: 長田 紗季)
連絡先	TEL 072-683-1221	

一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① +		830,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		200,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		630,000 円 (うち、必須教材費 0 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		詳細は事務課までお問い合わせください
	① 副読本代(税込額)		円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③ 施設維持費(税込額)		円
	④ その他(大学院生個人研究費、入学金免除該当者 等)		円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	詳細は看護学事務課までお問い合わせください	円

〔 特 記 事 項 〕

※給付対象の授業料は1年分のみ
※2年を超えて修了した者は教育訓練給付の対象外